

同窓会だより

昭和 34 年応化卒 石川 遥彦

応化・昭和 34 年卒のクラス会「応化三四会」は最近は一泊旅行が恒例となっていたのだが、今回は丁度卒業 50 周年の節目の年に当たるのでなるべく多くの会員が出席できるようにと日帰りの記念会を行うこととした。

10 月 20 日横浜駅前の「崎陽軒本店」に特に佐藤菊正先生にもお出で頂き、会員 18, 準会員 (夫人) 9 の合計 28 名の出席となった。

例年会場設営にお骨折りを願っている松村氏ほか一、二の常連が止むを得ぬ事情で欠席となったのは残念であったが、反面何年か振りの参加者も何人かあったりしてまずまずの集いとなった。

記念撮影、物故者への黙祷のあと、佐藤先生よりご祝辞を頂いたが先生がお元気なのは皆びっくりした。出席者のなかで一番お若いのではとの女性の声もあった位である。

吉井氏音頭による乾杯のあと歓談に移り、久闊を叙したり、会の今後の進め方を論じたりするうちに楽しい時間はたちまちに過ぎ、最後は大沢氏指揮による学生歌「みはるかす…」の斉唱をもって盛会裏に閉幕した。

今回で持ち回りの幹事役も一巡したことでもあり、次年度以降は新しい機軸で展開を図ることを約し散会した。

2009 年仲冬



横浜国大応化三四会「卒業 50 周年記念会」平成 21 年 10 月 20 日 於 崎陽軒本店